

(4) アルバータ大学での語学・文化・研修セミナー

今年で13回目となるアルバータ大学での語学・文化・研修セミナーが、平成23年8月8日から同9月3日までの日程で実施された。本セミナーは平成6年に締結された学部間交流協定をもとに、平成10年度から工学部の学生を対象に実施されてきたが、平成13年2月に交流協定が大学間へ格上げされたことを受け、平成13年度より募集対象が全学に広げられ総勢13名の参加を得た。充実したプログラム内容に加え、学年や専門分野の異なるものが集まった共同生活、そしてカナダの雄大さとカナダ人の温かいもてなしに触れ、参加者全員がそれぞれの感激を胸に帰国した。帰国後はアルバータ倶楽部(今後のセミナー活動の支援や相互の親睦をはかる会として活動することを目的)としての活動も行っている。

【期間】平成23年8月8日～平成23年9月3日

【場所】アルバータ大学生涯教育学部(アルバータ州エドモントン市)

【参加者】学生13名と引率2名

【引率者】2名;長谷川 麻子(工学部 建築学科 助教),清永 英一(自然科学系事務ユニット 総務担当)

【事務局】水本 郁郎(工学部 機械システム工学科 准教授)

【研修内容】約60時間の語学研修、カナディアン・ロッキー・ツアー(2泊3日)、キャンパス探索、模擬講義、ホームステイ、カナディアン・ワイルド・ライフ体験、市内見学、社交パーティー、フェアウェル・パーティー他

(5) 短期留学体験プログラム

①平成22年8月13日～20日、韓国釜山の東亜大学にて、日韓合同デザインキャンプが開催された。熊本大学工学部の学生32名が参加し、東亜大学の学生と混成グループを組んで、「自然エネルギーを利用した省エネ機器の開発」というテーマで、ものづくりコンテストを行うものであった。

両大学の参加者決定後はメールを活用して事前のアイデアやコンセプトの討論を行うなどの新しい試みも行った。現地到着後は日韓混成10名程度の6グループに分かれてテーマに沿って創出したアイデアを実現させた。限られた時間で両大学の学生共に全力を尽くして作品を製作し、最終審査に臨み、大きな達成感を得たようである。最後はどのグループもほとんど寝ずに作品製作をしていたが、表彰式後の送別会は大変な盛り上がりであった。学生達は帰国の途、異文化に触れ、異国の学生に触れ、自分の心の中がかなり変化した様子を話ってくれ、今回の最大の目的である熊本大学と東亜大学との学生の友好促進を果たした。